

第2部
マーケットサウンディング（官民意見交換会）

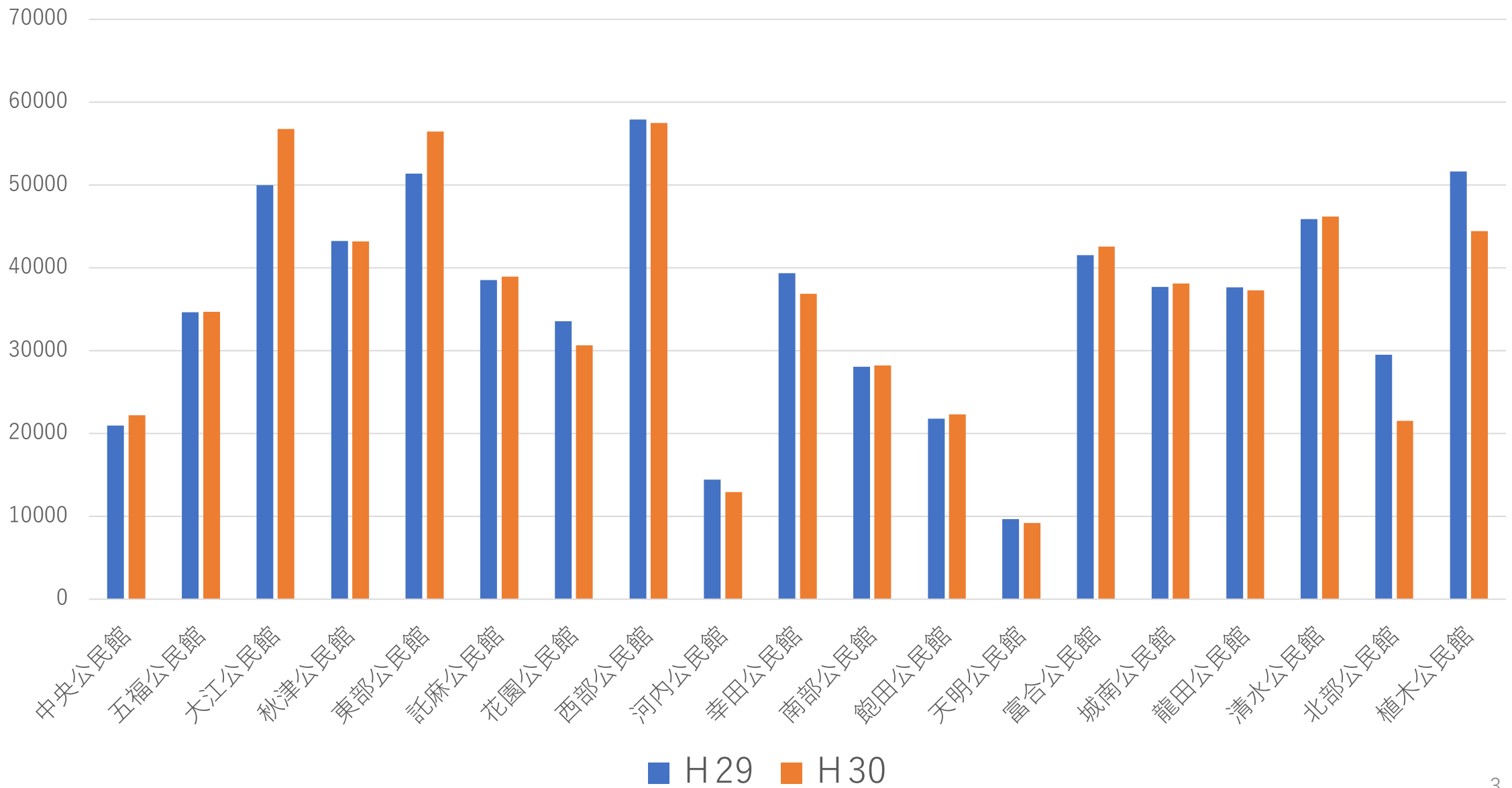
公設公民館の（仮称）アクティブセンター化

熊本市の公民館一覧

No	名 称	建築年度	築年数	延床面積	保有機能				
					会議室	調理室	ホール	和室	その他
1	中央公民館	H31	1	2,286	○	○	○	○	○
2	五福公民館	H3	27	2,276	○	○	○	○	
3	大江公民館	S 62	31	1,114	○	○	○	○	
4	秋津公民館	S 60	33	1,040	○	○	○	○	
5	東部公民館	S 52	41	1,177	○	○	○	○	
6	託麻公民館	S 55	38	952	○	○	○	○	
7	花園公民館	H2	28	1,134	○	○	○	○	
8	西部公民館	H24	6	1,550	○	○	○	○	○
9	河内公民館	H2	28	1,325	○	○	○	○	
10	幸田公民館	S 57	36	1,029	○	○	○	○	○

No	名 称	建築年度	築年数	延床面積	保有機能				
					会議室	調理室	ホール	和室	その他
11	南部公民館	S 62	31	990	○	○	○	○	
12	飽田公民館	H8	22	1,657	○	○	○	○	○
13	天明公民館	H3	27	755	○			○	○
14	富合公民館	H14	16	602	○	○		○	○
15	城南公民館	H9	21	1,292	○	○		○	○
16	龍田公民館	S 54	39	857	○	○	○	○	
17	清水公民館	S 59	34	936	○	○	○	○	
18	北部公民館	H1	29	852	○		○	○	
19	植木公民館	H5	25	1,166	○	○	○	○	
合計					18	16	15	18	6

公民館利用者数（年間）



公民館の事業

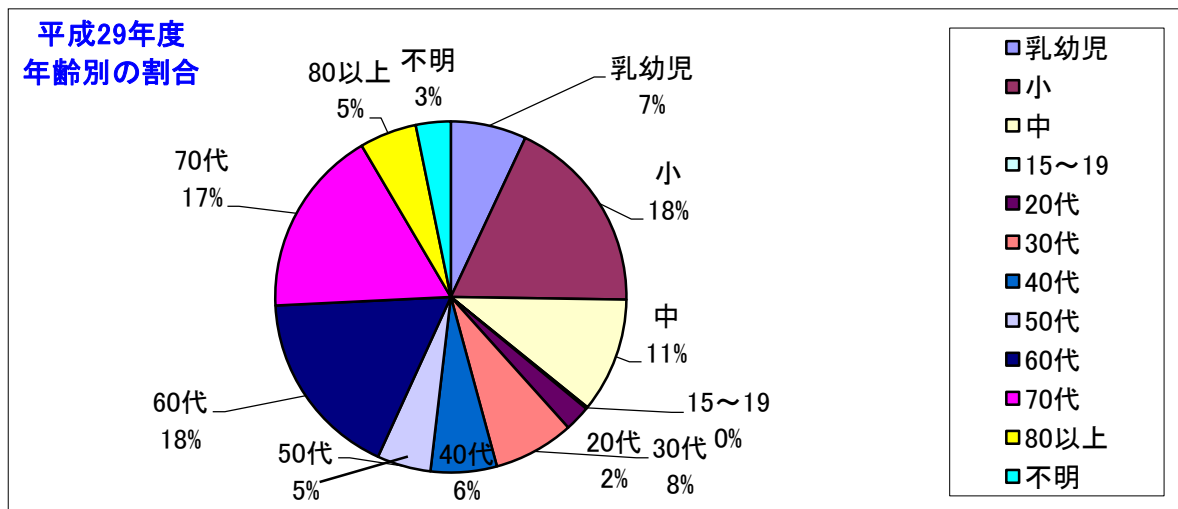
公民館は・・・

学び、ふれあい、豊かな文化に触れることで、市民の生活の質を向上させ、心豊かで幸せな暮らしをサポートする拠点。

- ・ 講座、講演会等の開催
- ・ 会議室の貸出
- ・ 図書室運営
- ・ 児童館運営

公民館の課題

・ 利用者の固定化、若年層の利用が少ない



公民館の機能や運用が
市民ニーズと
合っていない可能性

(仮称) アクティブセンターの目指す姿

誰もが気軽に
利用できる
社会教育・
地域活動の
広域拠点



(仮称) アクティブセンター検討の視点

ポイント 機能強化や民間活力の有効活用に努める

- ① 施設機能の強化と、機能の充実を図る
- ② 民間活力の導入を検討する

機能強化や民間活力の有効活用に努める

① 施設機能の強化と、機能の充実を図る

市民アンケート等の調査を元に新機能の導入を検討

- ・ **低利用率公民館** 「会議室⇒新機能」へ思い切った居室改修
- ・ **高利用率公民館** 更に利用者満足度を高める機能

公民館
ごとに
最適化

< 武蔵野プレイスの一部機能 >



サウンドスタジオ



託児コーナー



ワークラウンジ



スタジオラウンジ

ポイント 機能強化や民間活力の有効活用に努める

② 民間活力の導入を検討する

講座開催や施設運営など、様々な面から民間活力の導入可能性を模索。

具体例①

企業と連携した主催講座の開催

携帯会社によるSNS講座、健康食品会社による健康相談講座、リハビリ病院による健康体操、保険会社によるライフプランセミナーなど、企業と市民がWIN-WINとなる講座開催。

具体例②

雑誌スポンサー制度

雑誌の最新号のカバー表面と雑誌架に、提供スポンサーの名称を表示。

具体例③

夜間における定期的企業使用制度

利用率の低い夜間の会議室を法人等が塾や習い事の教室として年間を通した定期使用を許可。学習や教養等の向上の機会を増やすもの。

具体例④

住宅会社と連携した公民館の改修

住宅会社が公民館を無償で内装改修。展示場として、3年間のPRを実施。